

個人投資家向け会社説明会

2023年8月4日（金）



証券コード：4886

あすか製薬ホールディングス株式会社

重要な注意

- この資料に含まれる将来の予測に関する事項は、発表日現在において入手可能な情報による当社の仮定および判断に基づくものであり、既知または未知のリスクおよび不確実性が内在しております。
- したがって、実際の業績、開発見通し等は今後さまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき願います。
- 医薬品（開発中のものを含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

本日の内容

1. あすか製薬ホールディングスとは
2. あすか製薬ホールディングスの成長戦略
3. ESGの取り組み
4. 直近の業績

あすか製薬ホールディングスとは

あすか製薬ホールディングスの概要

商号	あすか製薬ホールディングス株式会社
設立年月日	2021年4月1日
経営理念	先端の創薬を通じて 人々の健康と明日の社会に貢献する
資本金	11億9,790万円
単元株式数	100株
本社所在地	東京都港区芝浦二丁目5番1号
従業員数（連結）	747人※1
グループ会社数	連結子会社：3社 持分法適用関連会社：3社
時価総額	476億7,859万円※2
証券コード	4886（東証プライム）



代表取締役社長
山口 隆

※1 従業員数・グループ会社数は2023年3月31日現在
※2 時価総額は2023年7月31日付終値（1,560円）より算出

あすか製薬ホールディングスの起源

世のため人のため、国益を最優先する志が事業の原点

● 1893年
(明治26年)

洋酒・食料品輸入商「山口八十八商店」を開業。輸入一辺倒の状況に疑問を抱き、国益に資するべく食品の国産化を目指し、食品製造業への進出を図る。

● 1908年
(明治41年)

「帝国社食品工場」を開設、ハム、缶詰など国産化に成功し販売を開始。食品製造の過程でほとんど使用されず、大量に廃棄される動物の臓器に注目。臓器からホルモンを抽出するという独自の発想で研究を開始し、医薬品開発に着手。

● 1920年
(大正9年)

「帝国社臓器薬研究所」を創設、男性ホルモン製剤「スペルマチン」の製造・販売を開始し、医薬品製造業に進出。（当社の創立）



創業者 山口八十八



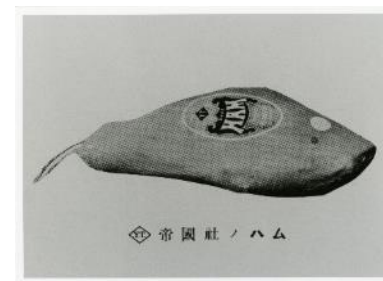
帝国社食品工場



人造バター（マーガリン）



野菜の缶詰



ハム



男性ホルモン製剤
「スペルマチン」

ホルモンとは

主に内分泌臓器や組織でつくられ、体のいろいろな機能を調節する働きがあります。
非常に少ない分量で効果があります。

あすか製薬ホールディングスの歩み

創立以来100年にわたって内分泌ホルモンの研究で社会課題解決に取り組む



1920年～
製薬企業としての
第一歩を踏み出す



1955年～
株式上場
成長～発展



2005年～
あすか製薬誕生
さらなる発展へ



2021年～
HD体制化
次の100年へ

独創的な発想で次々と ホルモン製剤を発売

国内初となる様々な
ホルモン製剤を発売



ホルモン研究の技術を 活用して事業を展開

医薬品の製品多角化
を進めるとともに、検査
事業、動物用医薬品
事業への展開を図る



女性の健康課題解決に 寄り添い成長を目指す

時代のニーズにあった
医薬品の開発・発売



持続的な成長のため 新たなステージへ

連結売上高604億円

1920 1940 1960 1980 2000 2022

あすか製薬ホールディングスの事業会社

医療用医薬品事業



経営理念

先端の創薬を通じて
人々の健康と明日の医療に貢献する

アニマルヘルス事業



経営理念

動物の健康と食の安全を守ることにより、
人と動物が共生できる社会づくりに貢献する

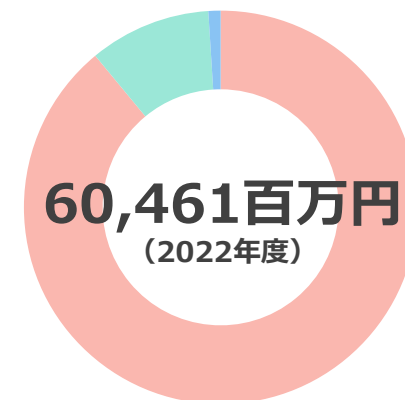
検査事業



経営理念

最新の測定技術を通して
豊かな健康社会づくりに貢献する

あすか製薬ホールディングス 連結売上高



- 医療用医薬品事業 88.6%
- アニマルヘルス事業 11.0%
- その他事業（検査等）0.4%

ホルモン製剤のパイオニアとして人々の健康とQOLに貢献します

3つの重点領域において医療用医薬品事業を展開しています

内科領域
(消化器・甲状腺)

**産婦人科
領域**

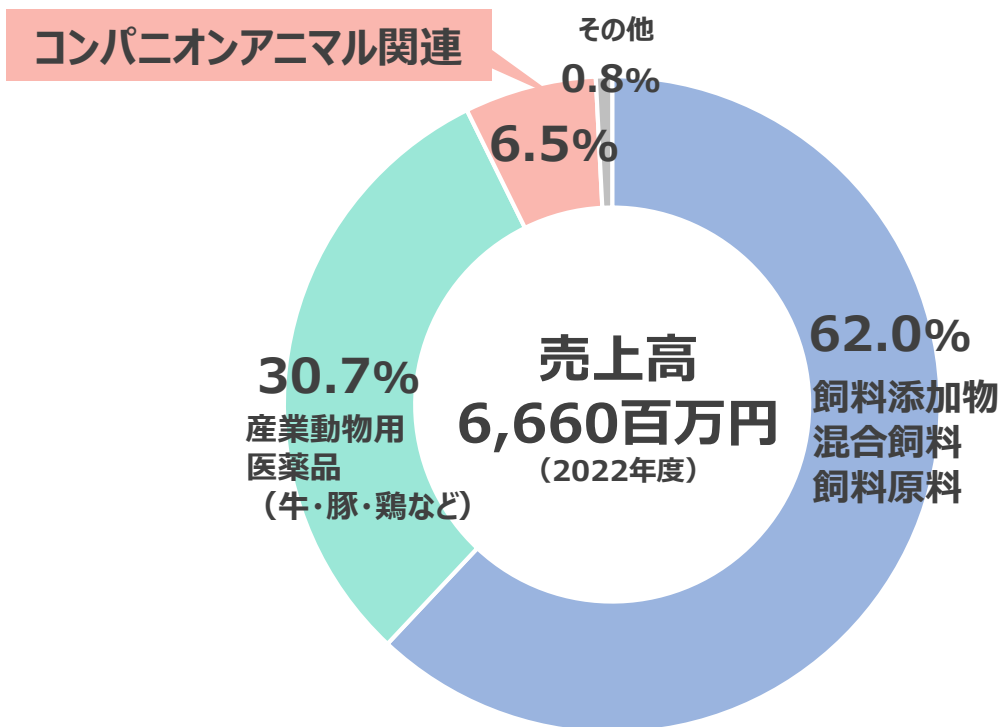
**泌尿器科
領域**

医療用医薬品とは

主に医師または歯科医師が診断のうえ、患者さん一人ひとりの病気やけがの程度などを判断して処方し、薬剤師が調剤して使用されるくすりのことです。

あすかアニマルヘルス 分野別売上構成比と注力分野

あすかアニマルヘルス 売上構成比



市場の伸びが顕著なコンパニオンアニマル分野
(ペット分野) での製品拡充を目指しています。

コンパニオンアニマル分野での取り組み



チロブロック錠 (2021年1月発売)

国内で初めて承認された猫の甲状腺機能亢進症治療剤。
あすか製薬の医療用医薬品から転用して開発されました。
小型錠で猫に優しい製剤設計になっています。

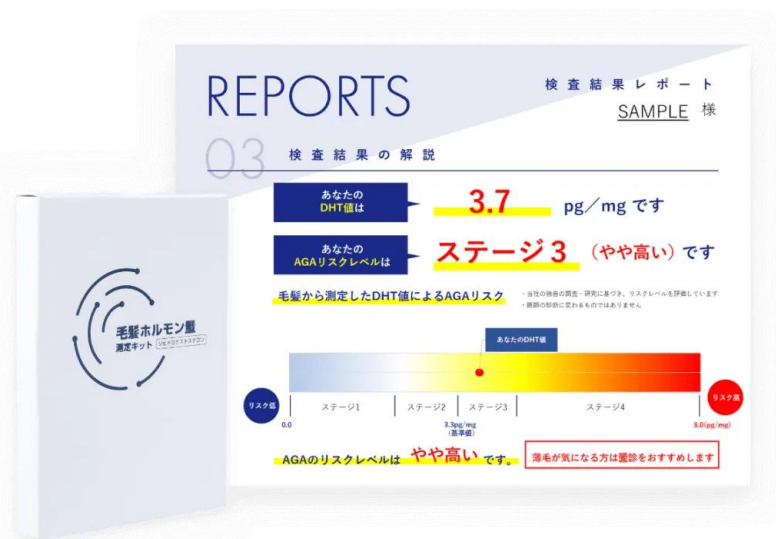
トリロスタン錠 2.5mg・5mg・10mg「あすか」



犬の副腎皮質機能亢進症の治療剤として2022年11月に
発売しました。飲みやすい錠剤で、小型犬に対応した製剤
設計になっています。

独自の検査技術を応用した非侵襲性検査キットの開発を進めています

AGAの主な要因となる
ジヒドロテストステロンを測定



【製品名】 2021年7月発売
毛髪ホルモン量測定キット
ジヒドロテストステロン

男性ホルモンの代表格である
テストステロンを測定



【製品名】 2023年4月発売
毛髪ホルモン量測定キット
テストステロン

爪・毛髪からコルチゾールを測定し
ストレスレベルを評価



【製品名】 2023年7月発売
ストレスホルモン量測定キット
コルチゾール

あすか製薬ホールディングスの成長戦略

成長戦略（中期経営計画2025の目指す姿）

スペシャルティファーマを基盤とする
トータルヘルスケアカンパニーを目指す

中期経営計画2025 数値目標
売上高700億円 営業利益率8% ROE8%

外部環境の変化に対して「専門性」「生み出す力」「社会貢献」
を軸に「4つのビジョン」「7つの戦略」を立案し中期経営計画を策定

専門性

生み出す力

社会貢献

中期経営計画2025 4つのビジョンと7つの戦略

<4つのビジョン>

医療用医薬品を軸にスコープ
(領域、地域)を拡大する

オープンイノベーション推進により業務革新を実現する
(研究開発－生産－販売まで)

中核となる医薬品事業（スペシャリティ領域）で
国内トップを確立する

社会から信頼され続ける会社であり続ける

<7つの戦略>

スペシャリティ領域の
取り組み強化による
企業価値向上

先端創薬による
新薬の継続的創出

海外事業の展開

トータルヘルスケア実現に
向けた新たな価値提供

業務効率化、
コスト削減、
財務基盤の強化

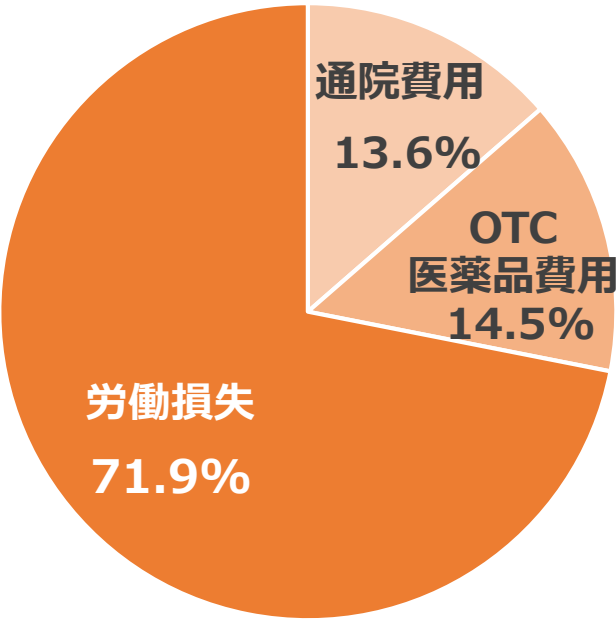
コンプライアンスの徹底と
信頼性を重視する
組織風土の醸成

成長戦略を実現する
ための人材育成

産婦人科領域において 女性の健康課題解決に取り組み 持続的な成長を目指す

女性の健康問題

月経随伴症状による1年間の社会経済的負担



内訳	推計額
通院費用	930億円
OTC医薬品費用	987億円
労働損失	4,911億円
総計	6,828億円

Tanaka E,Momoeda M,Osuga Y et al. J Med Econ 2013;16(11):1255-1266に基づき作成

職場における女性の健康に関する現在の課題

女性が比較的多い職種における課題

例) 接客業・立ち仕事・コールセンターなどの職種におけるメンタルヘルスや喫煙率の増加など

月経における課題

例) プレゼンティーズムの損失やリテラシー不足など

女性特有の疾病における課題

例) 仕事との両立や婦人科検診の有無など

妊娠・出産における課題

例) キャリアチャンスの喪失など

更年期障害における課題

例) 仕事や介護との両立や職場におけるチャンスの喪失など

出典：経産省ヘルスケア産業課「健康経営における女性の健康の取り組みについて」

ライフイベントの変化による月経回数の増加

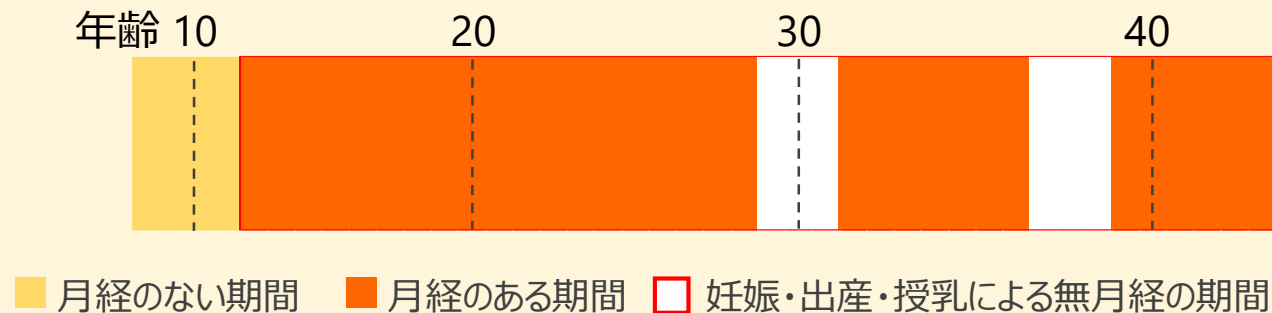
現代の女性は、昔の女性に比べ初経が早く、晩婚化の傾向にあり出産回数が減少している。
生涯に経験する月経回数が増えたことが、月経困難症等の月経トラブルが増えた要因として考えられている。

現代女性の月経回数

生涯の月経回数：約**450回**

生涯の出産回数：約**2回**

現代女性の月経期間

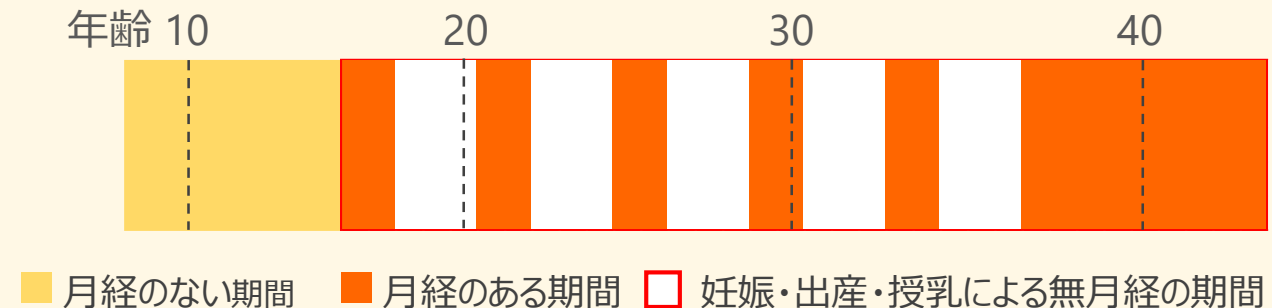


昔の女性の月経回数

生涯の月経回数：約**50回**

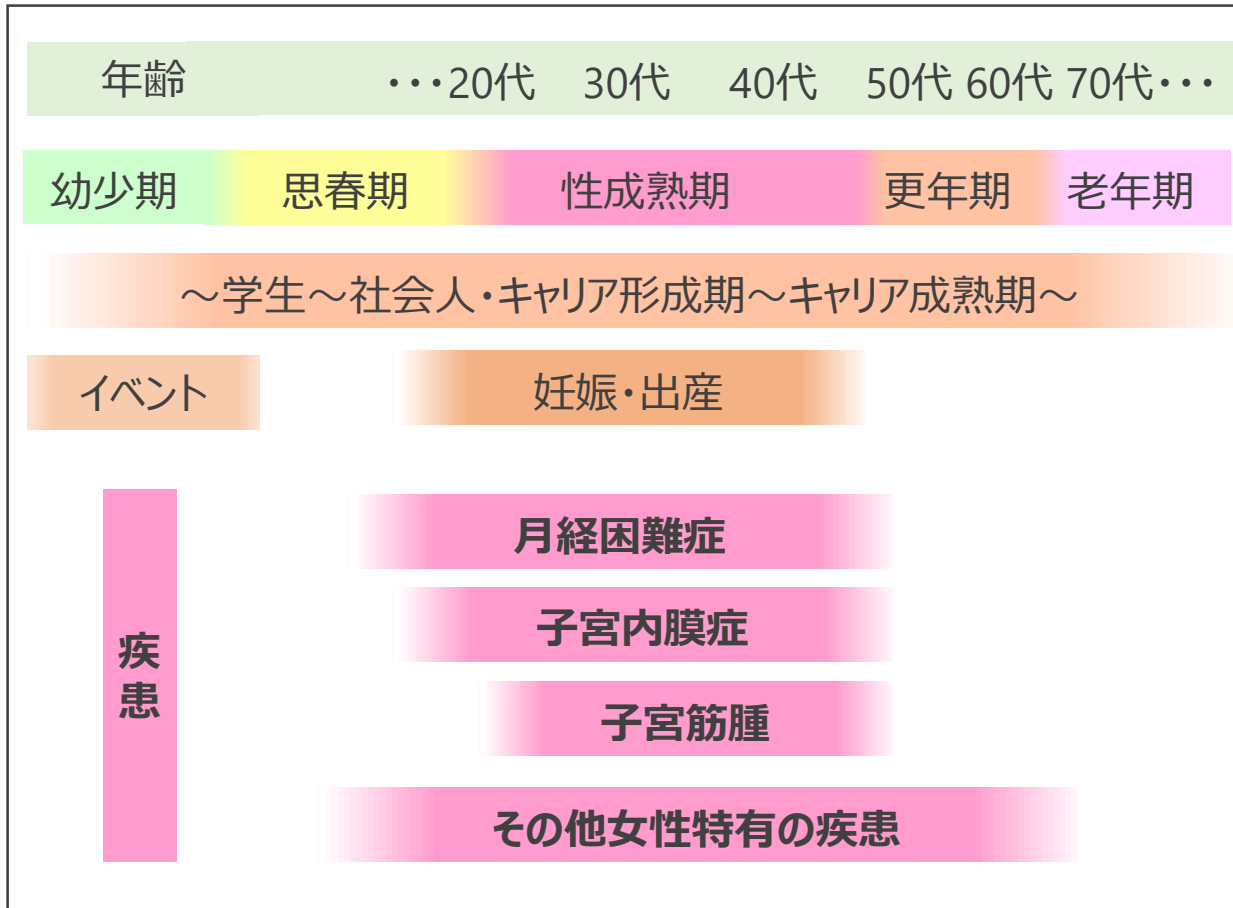
生涯の出産回数：約**5回**

昔の女性の月経期間



女性のライフステージと月経困難症について

女性のライフステージと関連する疾患



月経困難症とは？

月経に伴う下腹部痛や腰痛、吐き気、頭痛、疲労・脱力感、いらいら感などの不快な症状が日常生活に影響するほど強く出る状態です。

月経困難症の原因は？

月経困難症は**原因となる病気が特**にない「**機能的月経困難症**」と子宮筋腫や子宮内膜症など、**何らかの病気を原因とする「器質性月経困難症」**に分けられます。

弊社診療サポートツールより引用

子宮筋腫と子宮内膜症について

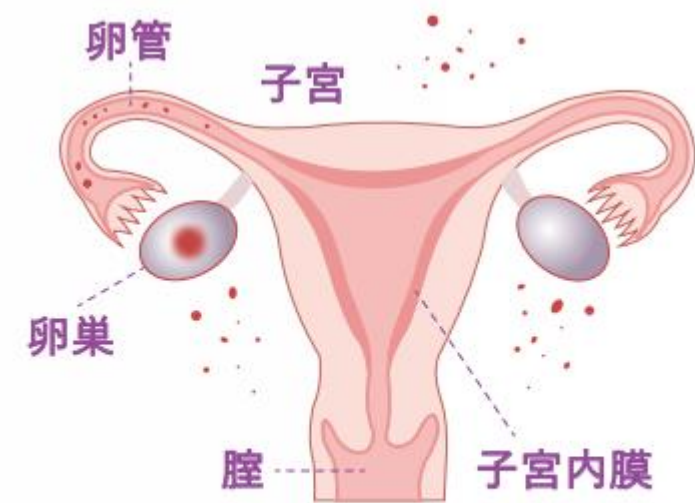
子宮筋腫とは？

子宮筋層にできる良性の腫瘍です。
筋腫のできる位置大きさは様々で、
過多月経や月経痛、不妊などの
原因になることもあります。



子宮内膜症とは？

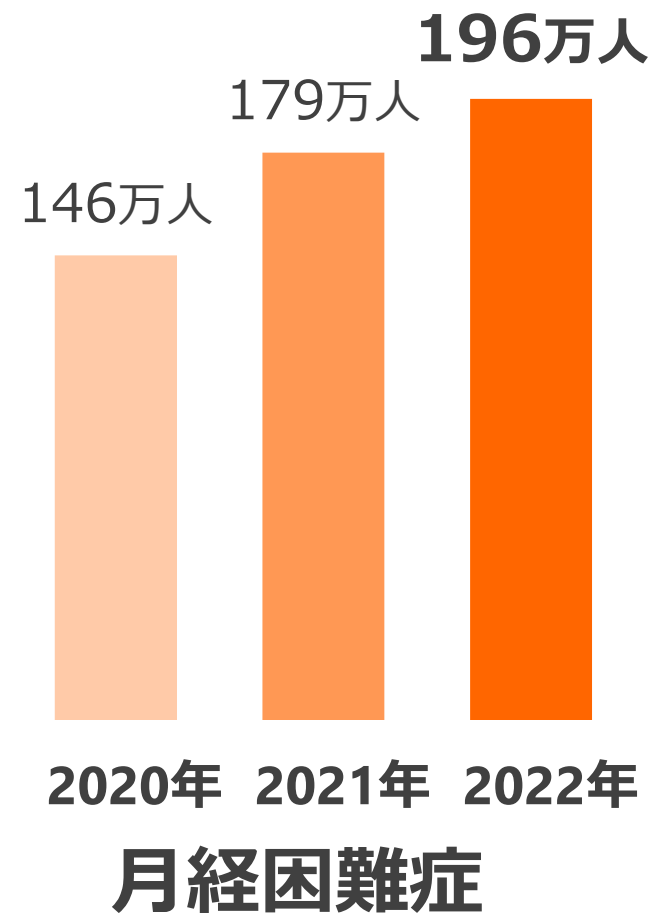
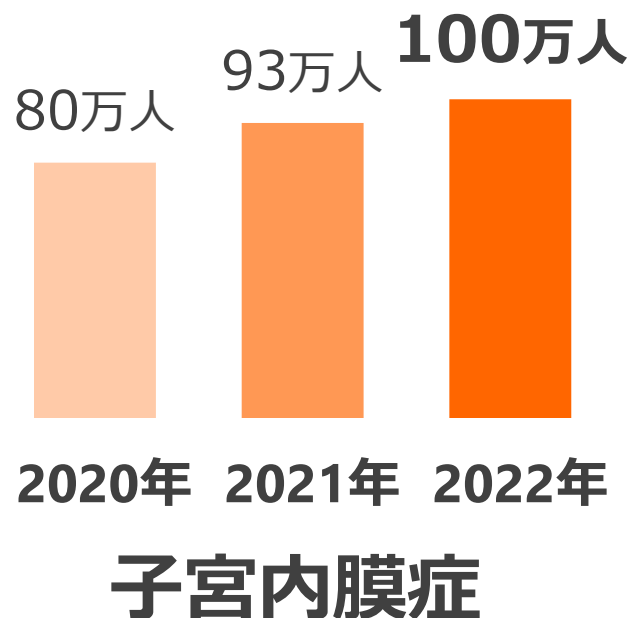
子宮内膜またはそれに似た組織が
子宮以外の部位で発生し、
痛みや不妊の原因となる病気です。



・● = 子宮内膜または子宮内膜に似た組織

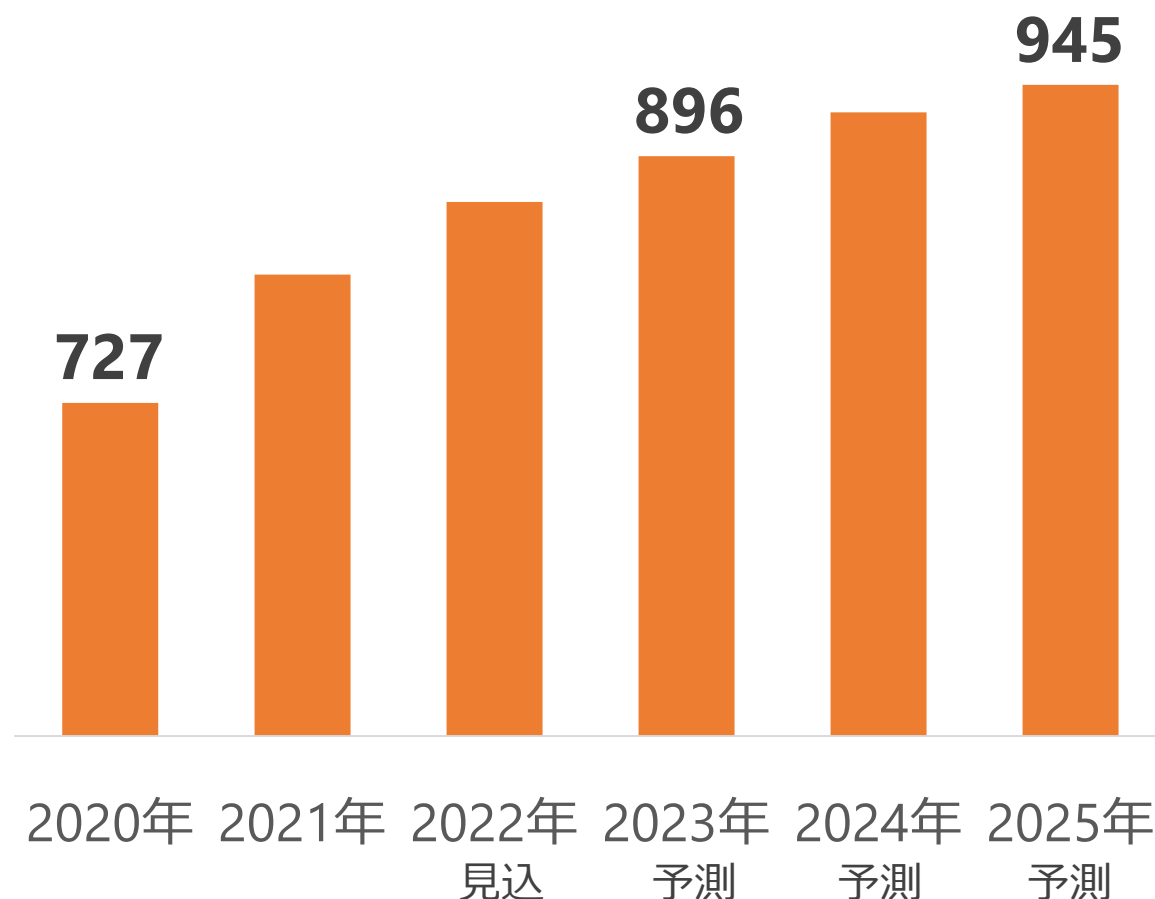
子宮筋腫・子宮内膜症・月経困難症の患者推移

(電子レセプトデータからの拡大推計値、各年1月～12月までの12か月間)



産婦人科市場の推移と女性を取り巻く環境変化

産婦人科市場規模推移※（単位：億円）



女性を取り巻く様々な環境変化

社会の変化

- ✓ 官民連携による女性活躍推進
- ✓ フェムテックなど女性の健康課題解決への注目
- ✓ メディアなど多様な媒体を通じたリテラシーの向上

医療行政の変化

- ✓ オンライン診療の拡大
- ✓ 不妊治療保険適用

新薬の発売

- ✓ ニーズに対応した新薬の上市

**産婦人科市場は
持続的な成長を予測**

※1 株式会社富士経済「保険適用で注目される産婦人科関連市場のトレンド分析と将来予測」無断転載禁止

ライフステージ別 産婦人科製品一覧

幼少期	思春期	性成熟期			更年期	老年期
	避妊薬	ドロスピレノン（LF111）	アンジュ	ノルレボ	更年期障害	ホーリン
	鉄欠乏性貧血	リオナ（コ・プロ※）				
	性感染症	ラピッドエスピー（コ・プロ※）				
	子宮筋腫 子宮内膜症 月経困難症 月経異常	レルミナ ジェミーナ（コ・プロ） PMS/PMDD治療薬	リュープロレリン フリウェル（AG） プラノバル	AKP-022 ドロエチ配合錠 癒着防止材		
	切迫流早産 陣痛促進	マグセント リトドリン	マグネゾール アトニン-O	メチルエルゴ メトリン		
	不妊症	HMG注用 ルテウム	uFSH注用 ゴナトロピン	セキソビット		

社会のニーズに応え
ラインナップを拡充し
女性医療に貢献

販売中

開発中

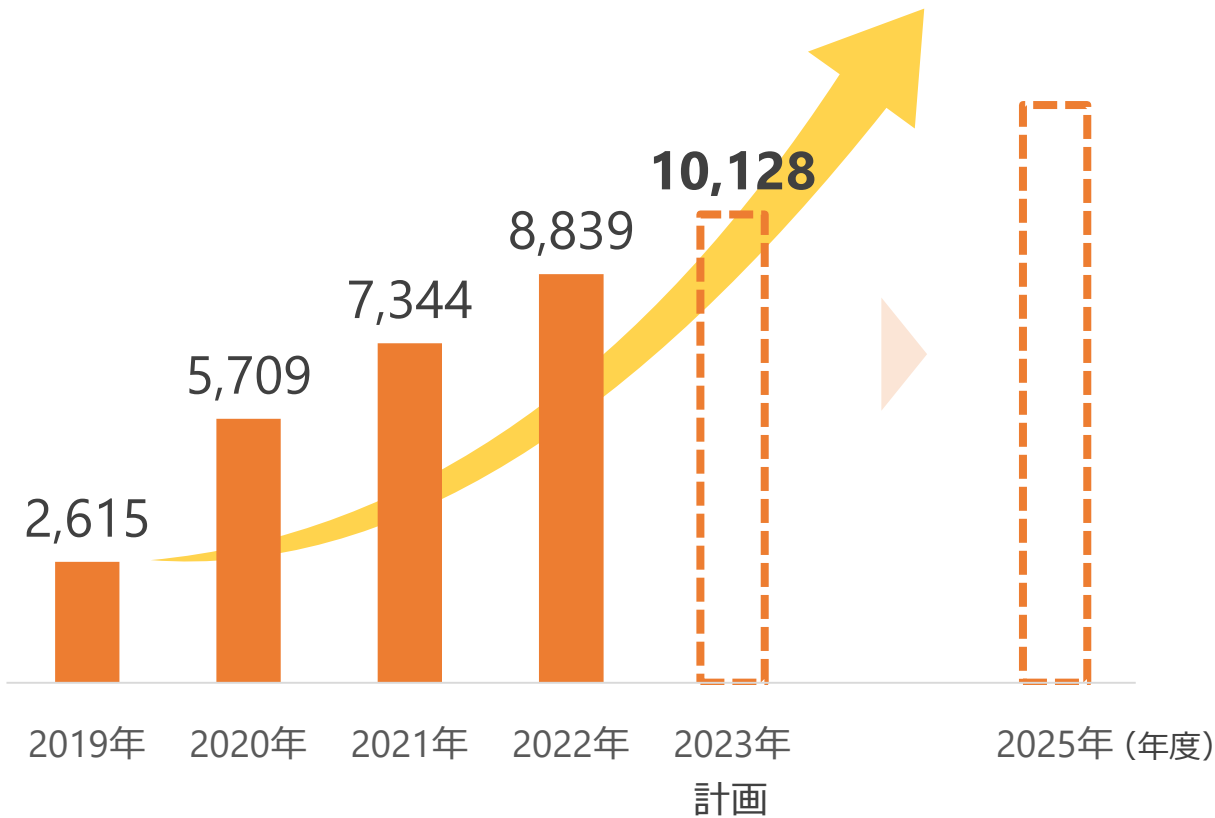
※主に産婦人科領域を対象

子宮筋腫・内膜症治療剤 レルミナ（レルゴリクス）

レルミナ売上推移

決算ベース(百万円)

更なる成長を
目指す



レルミナの特徴

(2019年発売)

- ✓ 子宮筋腫治療剤として**20年ぶりの新薬**
- ✓ 子宮筋腫治療剤として**初の経口剤**
- ✓ 子宮筋腫に基づく**諸症状を速やかに改善する**
- ✓ フレアアップ現象※が起こらない
- ✓ 2021年12月に子宮内膜症の適応を追加取得

※投与初期に一過性に女性ホルモンの分泌が亢進する現象
不正出血や下腹部痛等の症状が発生するケースもある

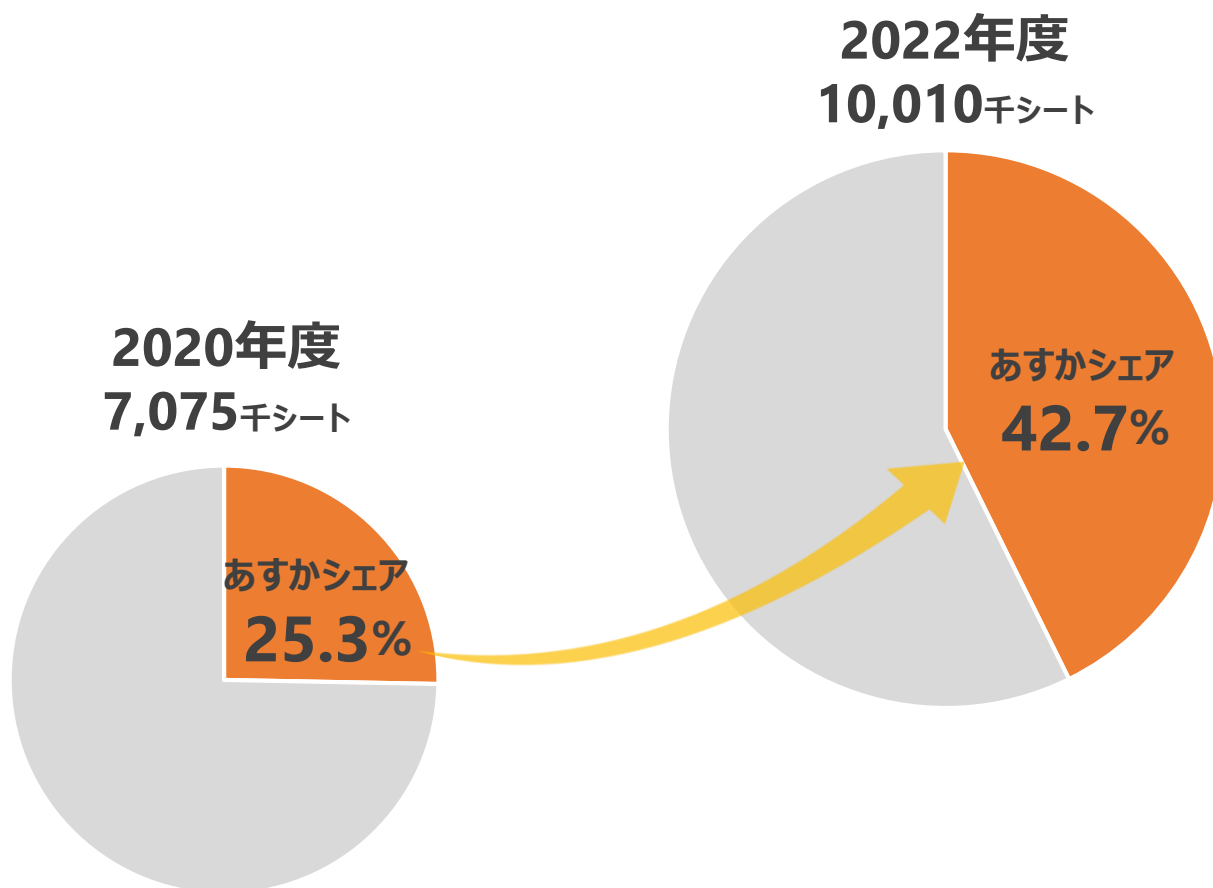
**子宮筋腫・子宮内膜症の
疾患治療に貢献**

月経困難症治療へのさらなる貢献

エンサイスデータに基づく自社集計
無断転載禁止

拡大するLEP^{※1}製剤市場

■ あすか製品 ■ 他社製品



あすか製薬のLEP製剤一覧

- ✓ ジェミーナ^{※2}配合錠 (連続投与が可能な製剤)
- ✓ フリウェル配合錠 (オーソライズドジェネリック^{※3})
- ✓ ドロエチ配合錠 (1社単独発売のジェネリック)

- ✓ LEP製剤3製品をラインナップし月経困難症の患者さんに合わせた治療選択肢を提供
- ✓ 拡大を続けるLEP製剤市場で更なるシェアを獲得し疾患治療に貢献する

月経困難症治療への貢献

※1 低用量エストロゲン・プロゲスチン配合薬の略称 ※2 ノーベルファーマ（株）とのコ・プロモーション

※3 先発医薬品の特許権を有している会社から特許実施許諾を受け製造販売される後発医薬品

甲状腺領域のリーディングカンパニー

あすか製薬の甲状腺領域製品

甲状腺ホルモン製剤

✓チラーヂンS錠・散・静注液

抗甲状腺剤

✓メルカゾール錠・注

✓プロパジール



甲状腺製剤国内シェア
95%以上※

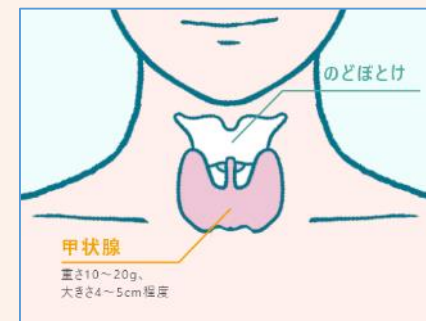
※ 自社推計

甲状腺とは

のどぼとけの少し下にある、人が生きるために重要な「甲状腺ホルモン」を分泌しています。

甲状腺ホルモンは、新陳代謝を促進させ、脈拍数や体温、自律神経の働きを調節するなど重要な役割を担っています。

甲状腺の働きに異常があると、全身にさまざまな症状が現れ、「なんとなく調子の悪い状態」が続くことがあります。症状が多岐に渡るため、他の病気と間違われることも甲状腺の病気の特徴です。



疾患啓発の推進と治療への貢献
基礎的医薬品として安定供給の責務

女性の健康への貢献 ～新たな取り組み～

フェムテック事業推進室の新設

■新設の狙い

- ✓フェムテックでの新規事業の創出
- ✓フェムテック参入企業との協業推進
LIFEMとフェムテックに関する包括的業務提携を締結
- ✓既存事業（医薬品事業、検査事業）とのシナジー創出

コーポレートベンチャーキャピタルファンドの設立

先端の創薬技術で女性の健康課題解決を目指す
「あすかイノベーションファンド」設立

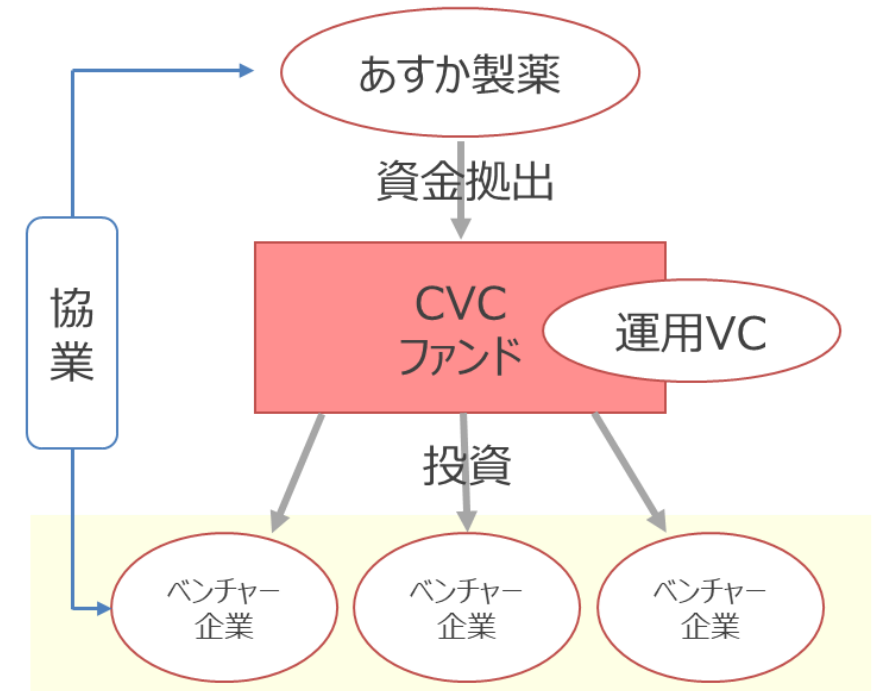
■投資テーマ

女性の健康課題解決（最優先）、
医薬品研究、デジタル医療、アニマルヘルス・診断薬

ファンドの概要図

目的・期待

探索（シーズ発見）と深化（事業への貢献）



従来の方法に加えて新たな手段で
女性の健康課題解決に取り組む

女性の健康への貢献 ～女性のための健康ラボMint+～



知ることは、自分を守ること。



創立100周年を機に2020年より運営開始

女性のための健康ラボ Mint+



キーメッセージ

知ることは、自分を守ること。

女性に寄り添った情報発信をすることで、
毎日を前向きに健康で豊かな人生を送る
ためのヒントを発信しています。

<https://www.aska-pharma.co.jp/mint/>

女性の健康をトータルサポート

あすか ミント

検索



先端創薬による新薬の継続的創出

2020年4月に川崎研究所を閉鎖し湘南ヘルスイノベーションパーク※へ移転 オープンイノベーションを加速し創薬研究を強化

※製薬企業のみならず、次世代医療、AI、ベンチャーキャピタル、行政など、幅広い業種や規模の産官学が結集している施設。他社、他業種との協業を進めることで先端創薬による新薬の創出を目指す。

2021年4月にロンドンオフィスを設立し既存パートナーとの提携を強化 海外製薬企業・バイオテック・学術機関との新規提携をさらに加速

開発パイプライン

研究開発の状況（2023年7月時点）

開発番号(一般名)/領域・効能	研究※ ¹	非臨床※ ¹	Ph I	Ph II	Ph III	申請	承認
LF111（ドロスピレノン） 避妊	Ph III 実施中						
(オプション契約) PMS/PMDD※ ² 治療薬 レナサイエンスにて開発中	医師主導Ph II 実施中						
AKP-022（レルゴリクス配合剤） 子宮筋腫	Ph I / II 実施中						
テーマA / 産婦人科領域							
テーマB / 産婦人科領域							
TRM-270（癒着防止材） 消化器領域・産婦人科領域	Ph III 実施中						
L-105（リファキシミン） 肝性脳症（小児）	申請済み						
テーマC / 内科領域							
AKP-009（ルダテロン酢酸エステル） 前立腺肥大症	Ph II a 終了※ ³						
AKP-017（テストステロン経鼻剤）	開発準備中						
AKP-021（mPGES-1阻害剤）							

※¹ 研究、非臨床のため詳細は非開示 ※² 月経前症候群/月経前不快気分障害

※³ 追加Ph I の結果を受けデータを再確認するために再度Ph I 試験を準備中です

海外事業の展開

ベトナム

Ha Tay Pharmaceutical Joint Stock Company (ハタファース社)

ベトナム製薬業界売上高第2位のハタファース社株式 24.9%を取得
持ち分法適用関連会社化し、戦略的パートナーとして提携

新工場の建設支援を実施中

- PIC/S GMPに準拠した新工場の建設を2022年1月着工
(2023年8月引き渡し予定 生産能力20億錠/年)

韓国

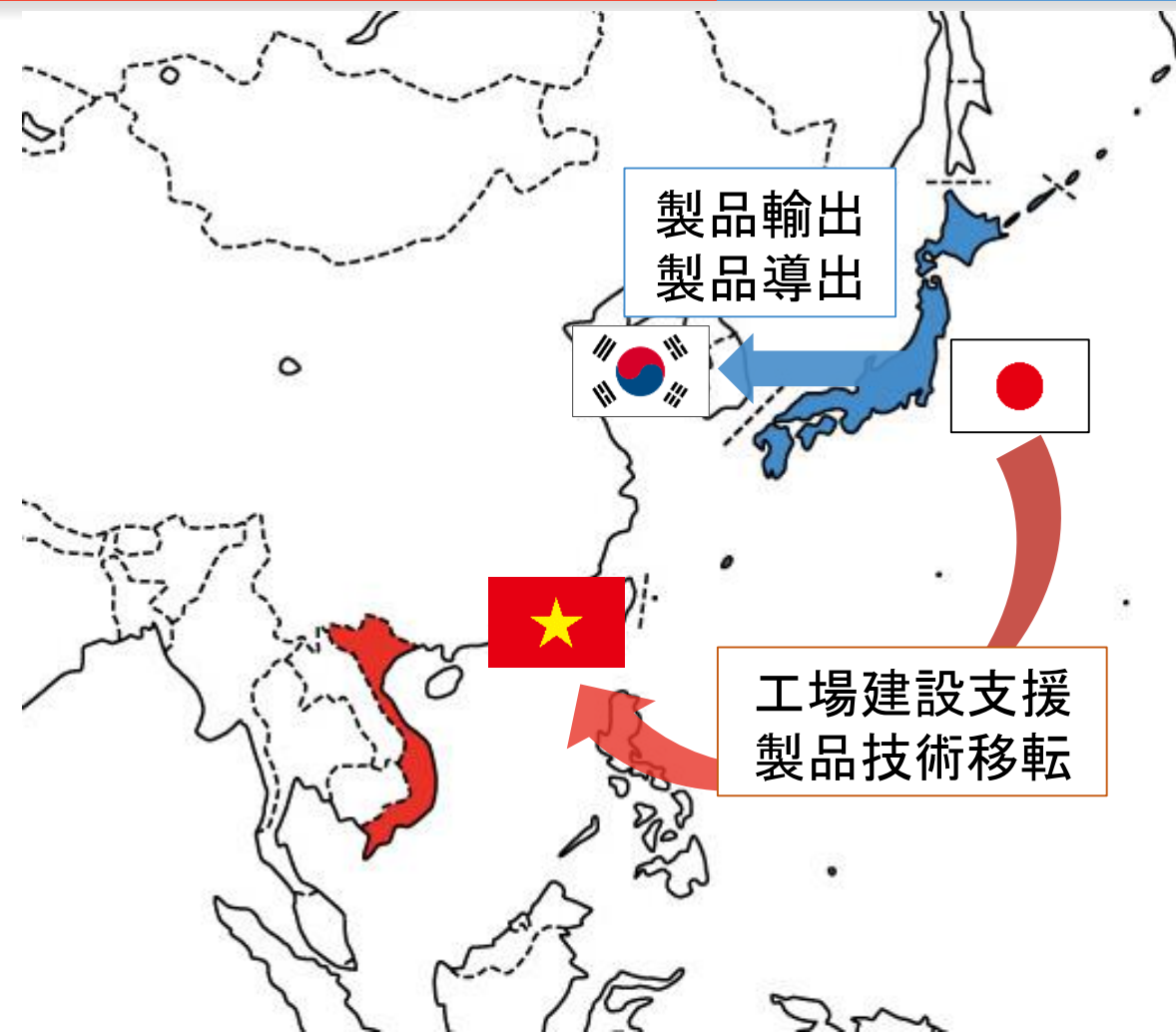
経口避妊薬「ドロスピレノン」に関するライセンス契約締結

契約先：Hyundai Pharm. Co., Ltd. (韓国 ソウル)

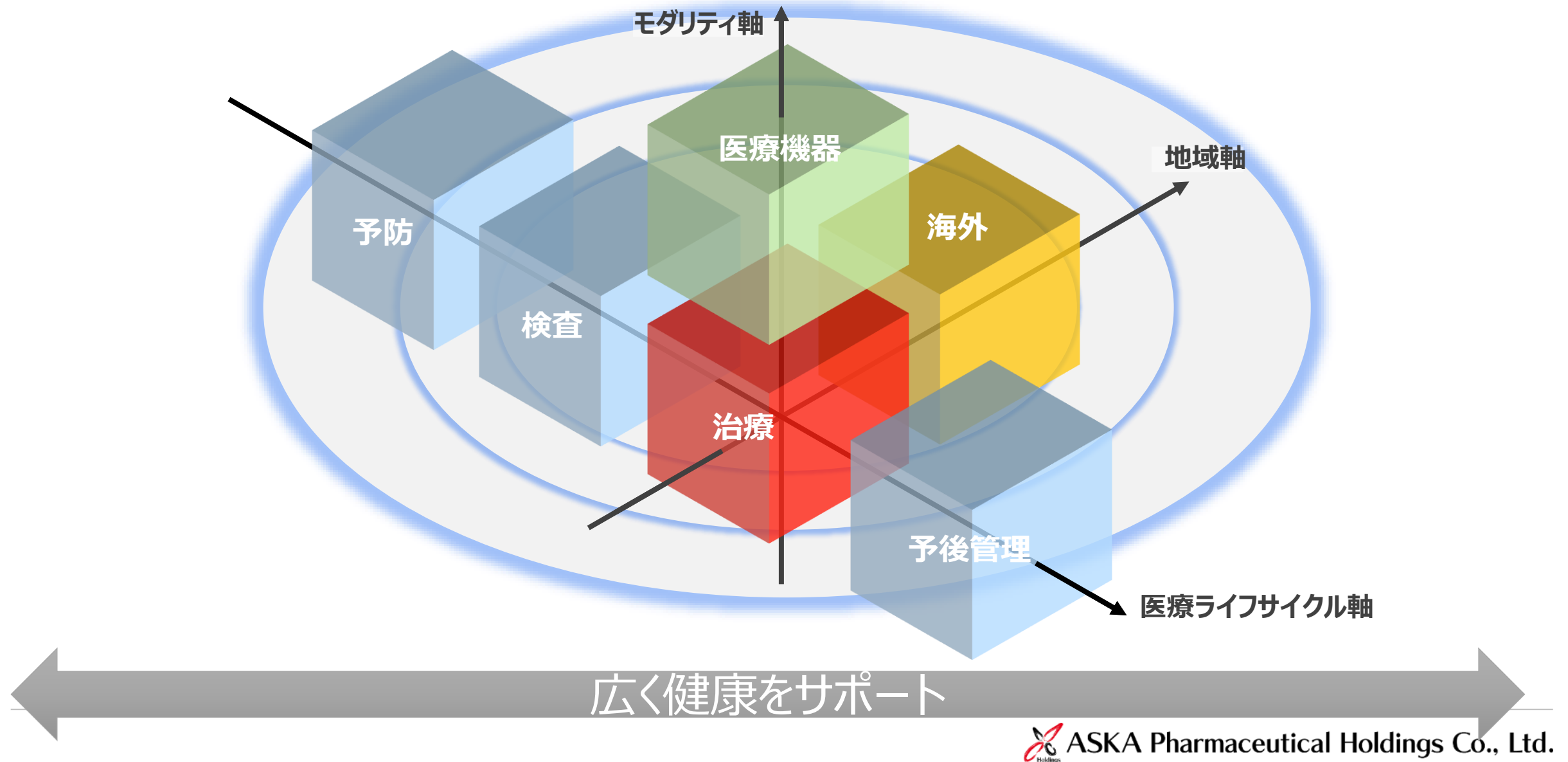
韓国にて製造販売承認申請を実施

- Hyundai Pharm が2023年3月31日に韓国の規制当局である
食品医薬品安全処に製造販売承認を申請

**ハタファース社と協業しベトナムを中心に
東南アジアへの展開を目指す**



スペシャリティファーマを基盤とするトータルヘルスケアカンパニーを目指す





サステナビリティ

あすか製薬ホールディングスのマテリアリティ

経営理念：人々の健康と明日の社会に貢献する

環境

- ・環境負荷の低減
- ・環境マネジメント

スペシャリティファーマを基盤とする
トータルヘルスケアカンパニーを目指す



当社が貢献していくSDGs

社会

- ・女性の健康への貢献
- ・アニマルヘルスへの貢献
- ・人材育成
- ・ワークライフバランスの実現
- ・従業員エンゲージメント
- ・革新的な製品の創出
- ・医療アクセス拡大
- ・サプライチェーンマネジメント
- ・製品の品質と安全性確保
- ・製品の適正使用推進
- ・社会貢献活動
- ・ダイバーシティ推進

ガバナンス

- ・コーポレートガバナンス
- ・長期的な企業価値向上
- ・法令遵守とコンプライアンスの徹底

ESG委員会を設置し、当社事業との関連性や社会貢献の観点から、17のマテリアリティ（重要課題）を特定

カーボンニュートラルに対する取り組み

CO₂排出量の目標と取り組み

あすか製薬のCO₂削減目標

2030年度までに
2013年度比 46%削減

あすか製薬のCO₂排出量

2013年度
17,726t

2022年度
10,780t (39%削減)

2030年度 (目標)
9,572t

CO₂削減の取り組み

- いわき工場におけるコージェネレーションの導入
- MRのハイブリッド営業車の導入
- 本社LED化

更なるCO₂削減に向けた検討

- クリーンエネルギーへの切り替え促進
- 太陽光発電設備（PPAモデル）導入決定
- いわき工場LED化

目標の達成に向けて取り組んでいく

ESGの取り組みと外部評価

WE SUPPORT



あすか製薬ホールディングス株式会社は、国際連合が提唱する「国連グローバル・コンパクト（UNGC）」に賛同を表明する署名を行い、2022年1月18日付で参加企業として登録されています。

あすか製薬ホールディングス株式会社が取り組むESGの活動が評価され、下記ESGインデックス構成銘柄に選定されています。



**FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index**



**FTSE Blossom
Japan Index**



FTSE Blossom Japan Sector Relative Index

ロンドン証券取引所が100%出資するFTSE Russell社が設計した投資指数です。各セクターにおいて相対的に、環境、社会、ガバナンス（ESG）の対応に優れた日本企業のパフォーマンスを反映する指数で、セクター・ニュートラルとなるよう設計されています。また低炭素経済への移行を促進するため、特に温室効果ガス排出量の多い企業については、TPI経営品質スコアにより改善の取り組みが評価される企業のみを組み入れています。 <https://www.ftserussell.com/ja/products/indices/blossom-japan>

FTSE Blossom Japan Index

ロンドン証券取引所が100%出資するFTSE Russell社が設計した投資指数です。環境、社会、ガバナンス（ESG）について優れた対応を行っている企業のパフォーマンスを測定するために設計されたものです。FTSE Blossom Japan Indexはサステナブル投資のファンドや他の金融商品の作成・評価に広く利用されます。 <https://www.ftserussell.com/ja/products/indices/blossom-japan>

S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数

S&Pダウ・ジョーンズ・インデックス社が設計したTOPIX（東証株価指数）をユニバースとし、環境情報の開示状況、炭素効率性の水準により、構成銘柄のウェイトを決定した指数です。 <https://www.jpjx.co.jp/markets/indices/carbon-efficient/index.html>

直近の業績

2023年3月期 連結損益計算書

単位：百万円	2022年3月期	2023年3月期	増減額	増減率
売上高	56,607	60,461	3,853	6.8%
売上原価	30,255	31,876	1,620	5.4%
売上総利益	26,351	28,584	2,233	8.5%
販売費及び一般管理費	21,556	23,476	1,920	8.9%
営業利益	4,795	5,108	312	6.5%
経常利益	4,880	5,232	351	7.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,290	4,238	△51	△1.2%

2024年3月期 連結業績予想

単位：百万円	2023年3月期 実績	2024年3月期 予想	対前年 増減額	対前年 増減率
売上高	60,461	62,000	1,538	2.5%
営業利益	5,108	5,400	291	5.7%
経常利益	5,232	5,500	267	5.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,238	4,400	161	3.8%

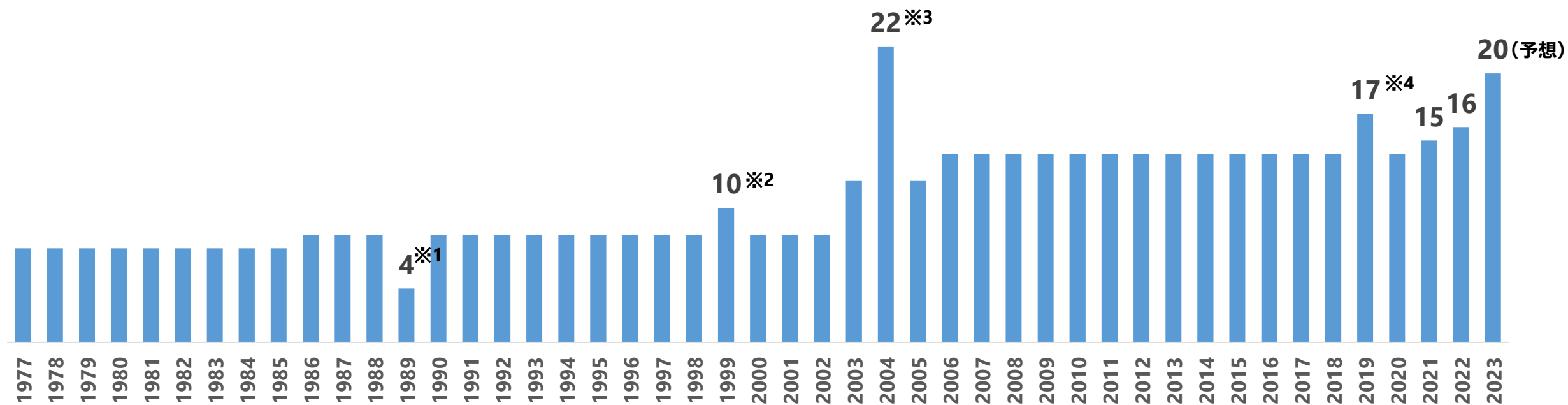
主な要因
□ 売上高は、主力の医療用医薬品事業において毎年薬価改定の影響を受けるものの、レルミナ等を中心とした産婦人科領域製品の伸長が寄与し、増収を予想 □ 利益面は、研究開発費の増加および事業活動の正常化に伴う費用の増加が見込まれるものの、売上総利益の増加を受けて、増益を予想

株主還元

株主還元方針

株主の皆様へ適正な利潤の還元のため安定的かつ継続的な配当を実施することを基本方針としております

1株当たり配当金推移



1977年より減配なし（記念配当、特別配当を除く）

※1: 6ヵ月決算 ※2: 内80年記念2円 ※3: 内合併記念10円、特別2円 ※4: 内100周年記念3円

株主・投資家様向け情報のご案内

当社ホームページにIR情報を掲載していますので是非ご覧ください
(当社IRサイトURL <https://www.aska-pharma-hd.co.jp/invest/>)



IRメール配信サービス

当社のIRに関する最新情報をメールでお届けします。

[➡ IRメール配信サービス登録](#)

各種資料（統合報告書、説明会資料等）

個人投資家様向けIRページ

IRメール配信

<https://www.aska-pharma-hd.co.jp/invest/mail.html>



IRサイトはGomez、日興アイ・アール各社より賞を受賞しています



あすか製薬ホールディングスグループの強み

成長の源泉

内分泌の研究・開発に長年に
わたり特化し

100年超

多種多様な製品を開発・発売

あすか製薬

産婦人科領域

No.1

産婦人科領域売上No. 1[※]

※自社推計：2023年度 下半期を対象

あすか製薬

甲状腺領域

No.1

国内甲状腺製品シェア95%

あすかアニマルヘルス

畜水産分野

繁殖用医薬品ラインナップ

畜産ホルモン剤市場に
おいて高いシェアを獲得

あすか製薬メディカル

分析技術

内因性ホルモン微量分析

非侵襲性検査事業の拡大

あすか製薬ホールディングス

シナジーの創出

グループ間連携の深化

各分野での連携・協業

あすか製薬ホールディングスグループ
コーポレートメッセージ

あすも、みらいも、すこやかに

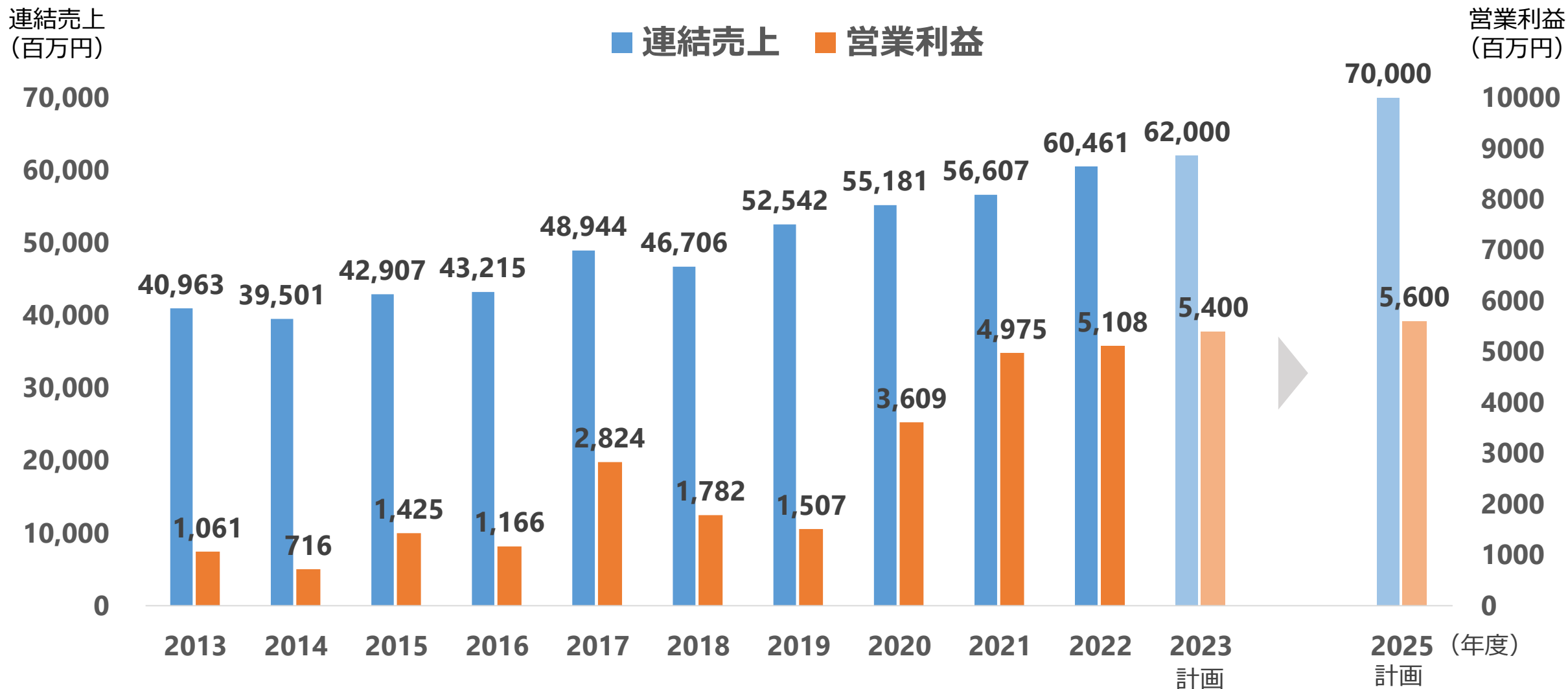


あすか製薬ホールディングス株式会社

ご質問受付中

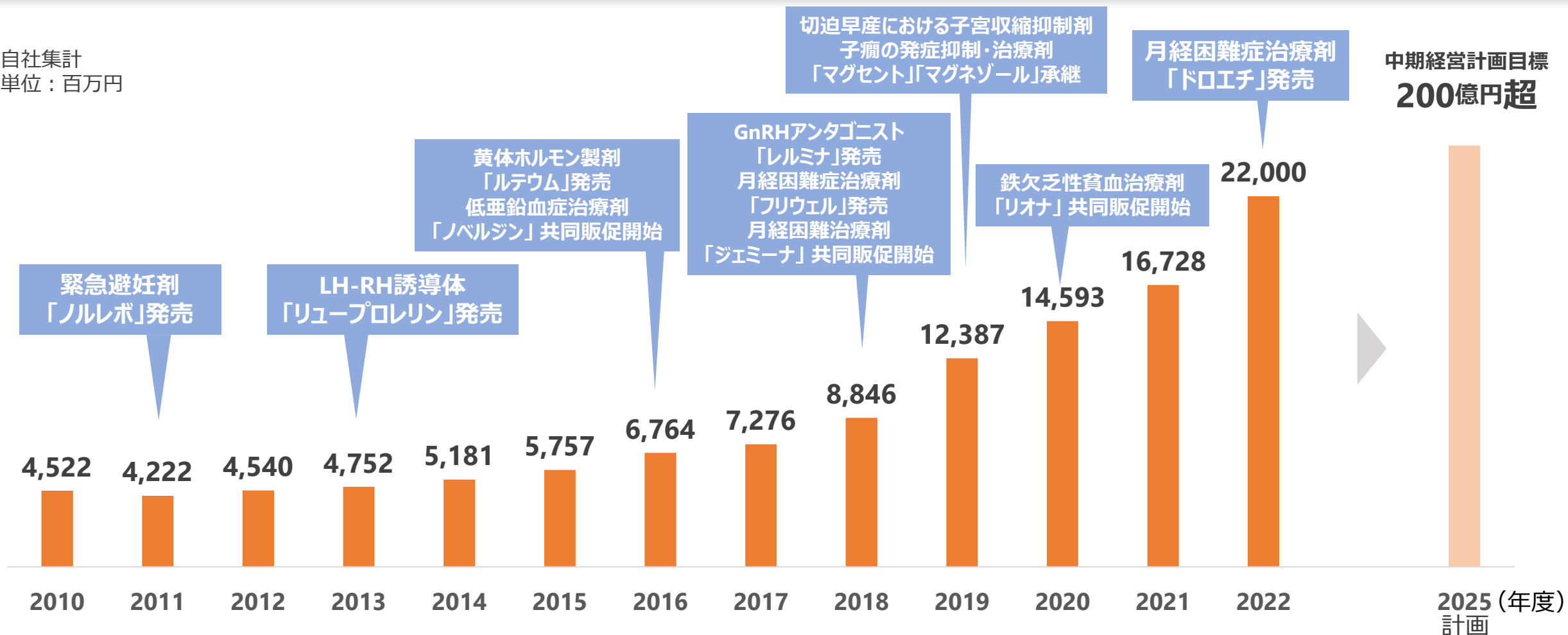
参考資料

10年間の軌跡と中期経営計画目標



あすか製薬の産婦人科製品売上推移

自社集計
単位：百万円



女性特有の疾患治療に貢献し持続的に成長していく

あすか製薬 領域別売上構成比

内科領域（その他）



持続性アンジオテンシンII受容体拮抗剤
「カンデサルタンあすか」

泌尿器科領域



LH-RH誘導体マイクロカプセル型徐放性製剤
「リュープロレリンあすか」

産婦人科領域



月経困難症治療剤
「フリウェルあすか」



GnRHアンタゴニスト
「レルミナ」

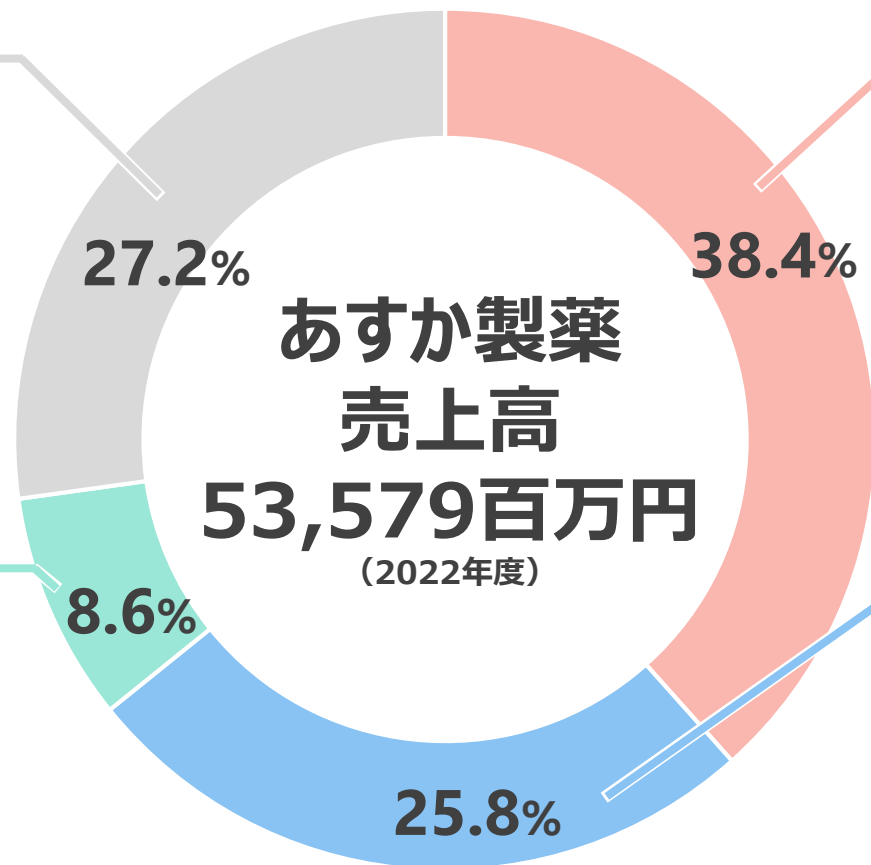
内科領域（消化器・甲状腺）



難吸収性リファマイシン系抗菌薬
「リフキシマ」



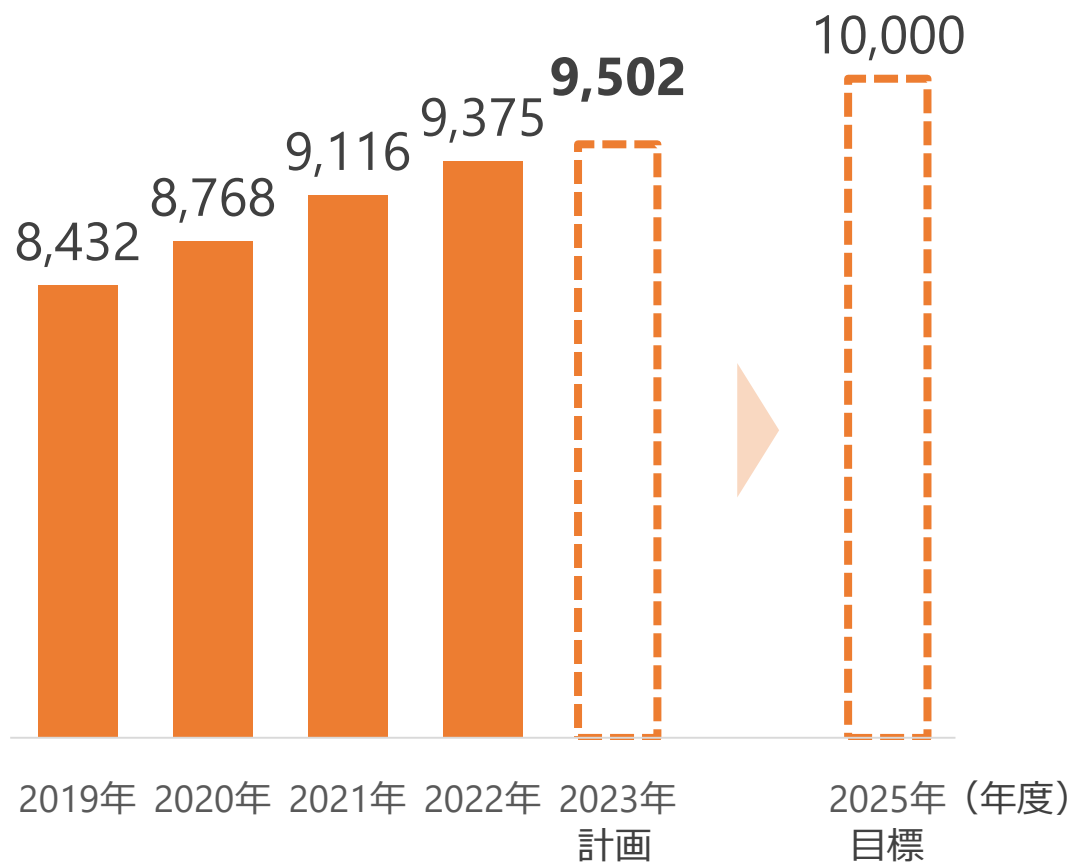
甲状腺ホルモン製剤
「チラーヂン」



甲状腺のリーディングカンパニー

甲状腺製品※の売上推移

決算ベース(百万円)



※ チラーヂン、メルカゾール、プロパジール

代表的な甲状腺の病気

橋本病（慢性甲状腺炎） ■男性 ■女性

甲状腺ホルモンが少なくなる病気

男女比は1 : 20～30



バセドウ病 ■男性 ■女性

甲状腺ホルモンを過剰に産生する病気

男女比は1 : 3～5



日本内分泌学会ホームページより当社作図

**女性に多い疾患
疾患啓発を推進し治療に貢献**

お問い合わせ先

グループ経営企画部

e-mail : kouhou@aska-pharma.co.jp